

児童扶養手当・ひとり親家庭医療費 助成金などの手続きはお済みですか？

市では、子どもの健全育成や子育てしやすい環境づくりのため、様々な子育て支援を行っています。子育ての負担を軽減できる各種制度を、ぜひご利用ください。



児童扶養手当

父親がいない又は父親が重度の障害者である児童の母親や、母親に代わって養育している人に支給します。支給期間は、該当する児童が18歳になった日以降の最初の3月31日（障害のある児童については20歳未満）までです。

ただし、所得制限があるほか、公的年金の給付を受けている場合や対象児童が乳児院や児童養護施設などに入所している場合、また母親に事実上婚姻と同様の状態にある男性がいる場合は支給されません。

●支給額（月額）

全部支給（対象児一人の場合） 41,720円
一部支給（対象児一人の場合） 9,850円
41,710円

※手当を受給してから5年を経過するなどの要件に該当する人は、手当の一部が支給停止となる場合があります。ただし、現在働いている人や求職中の人などは、必要な書類を提出すれば、それまでと同額の手当を受け取ることができます。事前に文書を送付しますので、内容を確認し、対象となる人は必ず届出を行ってください。

●特別児童扶養手当

法に定める基準に該当する障害を持つ20歳未満の児童を養育している父親又は母親、もしくは父母に代わって養育している人に支給します。

ただし、所得制限があるほか、対象児童が障害を支

給理由に公的年金の給付を受けている場合や心身障害児施設などに入所している場合は支給されません。

●支給額（月額）

1級（対象児一人の場合） 50,750円
2級（対象児一人の場合） 33,800円

父子手当



母親がいない又は母親が重度の障害者である児童の父親に対して支給します。支給期間は、該当する児童が18歳になった日以降の最初の3月31日までです。

ただし、所得制限があるほか、平成21年1月1日以前より鹿屋市に住所を有し、基準日（平成21年6月1日）及び支給月（平成21年9月末）も引き続き在住していることが条件です。

●支給額（年額）

児童一人 30,000円
児童二人 45,000円

※児童三人以上は、対象児童が一人増すごとに10,000円を加算

●ひとり親家庭医療費助成金

ひとり親家庭の父又は母及び児童並びに父母のいない児童にかかる医療費のうち、保険診療における一部負担金の全額を助成します。ただし、所得制限があります。

助成期間は、該当する児童が18歳になった日以降の最初の3月31日まで（父又は母の場合は末子が該当する期間まで）です。

●母子家庭への自立支援

母子家庭の母親が、就職に役立つ技能や資格取得のために講座を受講したり、専門学校等で修業している場合に助成金を支給します。

●自立支援教育訓練給付金 ●高等技能訓練促進費等事業

(1) 高等技能訓練促進費
(2) 入学支援修了一時金
※受給資格や対象となる講座・資格には制限があります。受講前にご相談ください。また、支給額や申請方法など詳しくは、お問い合わせください。

●現況届について

児童扶養手当、特別児童扶養手当、父子手当、ひとり親家庭医療費助成金については、所得と現況を確認するため、毎年8月中に現況届を提出する必要があります。なお、現在受給中の人には文書で通知します。

●【問い合わせ】

子育て支援課
0994・43・2111
内線3142・3143
各総合支所市民生活課